



マリンスタッフ講習会(本島3箇所)

H24年度 OMSB 水難救助員及びマリンスタッフ講習会（北部・中部・南部）は終了しました。ご多忙の中参加して頂いた皆様、誠に有り難う御座います。また、ご支援して頂いた各関係機関の皆様にも重ねて御礼申し上げます。

講習会報告

| 日時 | 講習会場 | 参加業者数 | 参加者数 |
|------------------------------|----------------------|-------|------|
| 平成25年2月14日(木) 13:00~18:00 | 21世紀の森体育館 第1・2会議室 | 21社 | 39名 |
| 平成25年2月21日(木) 13:00~18:00 | 読谷村文化センター 中ホール | 22社 | 41名 |
| 平成25年2月28日(木) 14:00~19:00 | 浦添市てだこホール 市民交流室 | 26社 | 62名 |

〈講習内容〉

- ・水難事故発生の現状と対策
- ・カヤックの事故発生と対策
- ・気象・海象の応用知識、地震と津波について
- ・一次救命措置法

OMSB 事務局長 ・ 運輸安全委員会
沖縄県カヤックガイド協会
沖縄气象台
日本赤十字社沖縄県支部 救急指導員

☆☆講習模様I☆☆



→ 運輸安全委員会 地方事故調査員 米倉 毅 様

ダイビング船での事故事例やマリンジェットでの事故事例等、原因と対策についてお話していただきました。また、ヒューマンエラーについて講習者へ体験させながらご説明していただきました。

☀️ 石垣島地方气象台による講話

気象・海象の基礎知識、台風・雷等の発生の仕組みから、今年上陸し大きな被害をもたらした台風に関する資料や雷・竜巻発生時の写真を交え、分かり易くご説明していただきました。

🚣 カヤックガイド協会講話 副会長：大城 敏 様

講習会に参加していただいた約半数の事業者様がカヤック関係ということで、今回はカヤックガイド協会より大城副会長をお招きし、カヤックにおける様々なヒヤリハット事例や事故事例について、発生原因を参加者とともに考え、防止対策の方法についてご教示していただきました。

☆☆講習模様Ⅱ☆☆

新たなガイドライン 2010 に添った一次救命措置法(心肺蘇生法・AED を用いた除細動)の講習は、4 名程度のグループに分かれ、実技を交えながら実施し傷病者発生から救急隊到着までの一連の標準実技を行いました。日本赤十字社沖縄県支部より救急指導員を招き、人工呼吸の仕方から胸骨圧迫の強さ・テンポ等を一人一人丁寧にご教示していただきました。また、各業者様からの質問にも丁寧にご説明して頂きました。



お客様へ安全・安心なレジャー提供ができるように、事業者の皆様のご支援ができるように頑張っていきますので、今後とも宜しくお願いいたします。

またアンケートへご協力頂き、ありがとうございます。今後の講習会の参考資料として活用させていただきます。

ご意見・ご感想は support@omsb.jp 迄